

ならはみらい

手仕事がつなぐ「ならはの暮らしとクラフトマルシェ」開催！

移住促進事業の一つとして、全国のクリエイターが地域とのリアルな交流を図りながら檜葉町での創作活動を体感するイベント「福島・ならはの暮らしとクラフトマルシェ」を開催。4回目となるマルシェでは、クリエイターが「ものづくり」を通して地域のみなさと会話がはずみ、檜葉町の魅力を体感していただきました。



写真提供：株式会社クリーム

“ならはみらい”の最新情報を定期的にお届けします！

- P2 2025年の取り組みを振り返って
- P3 地域×企業 立地企業親和会活動報告
みらいスタッフが紹介！イマドキ“ならは事情”
- P4 ならはみらいプチ補助金活動紹介
ならはみらいこんなことにチャレンジしています
- P5 ならはプレーヤー紹介
最新情報をPick up!
- P6 Hot/Info/Report/MIRAI Now

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなる
よう様々な事業に取り組んでいます。

ならはみらいの 2025年の取り組みを 振り返って

2025年、ならはみらいは設立11年目を迎えました。地域の“ひと・もの・こと”を知り、一つひとつの声を大切にしながら、全41事業を20名のスタッフで展開しています。昨年度に始まった地域活動相談窓口や機材レンタルなど、地域のアクションを支える事業も軌道に乗りつつあります。移住定住促進事業では、本年度を節目の年と位置付け、事業推進と並行し、これまでの総括や今後の方向性の検討を進めています。施設運営や組織間連携など継続事業を基盤に、可能性に満ちた地域をめざして歩んだ一年。“想い”と“アクション”から生まれた物語を紹介します。



ならはみらいスタッフが振興公社に出向

スタッフのノウハウ習得を通じた事業・組織のレベルアップを図るため出向制度を整備。初の出向として檜葉町振興公社にスタッフ1名が出向しました。出向スタッフの育成にとどまらず、法人間の技術や知見の共有による双方向的な発展も期待されています。



地域のアクションを後押し！

今年度に入り、地域活動相談窓口に相談くださった活動は約20件。活動費を支援するプチ補助金にも、11件の団体から申請がありました。この小さな地域にこれだけ多くのアクションが芽を出して育っていることが、まちづくり会社としての喜びです！



立地企業親和会 地域を知るツアー

進出企業の働き手は町外から通勤する方が多いため、檜葉の“ひと・もの・こと”を知ってもらおうと、ホトギス山ハイキングと山田岡行政区とのBBQ交流会を実施。檜葉を「働く場所」だけに留めず、土地やひとの魅力を感じていただきました。



アドベンチャーレース

風評払拭を目的にアドベンチャーレースを開催しました。自然を活かした体験型コンテンツや観光資源をさらにブラッシュアップすることで、訪問者が檜葉を直接見て聞いて触れる機会を増やし、地域の魅力発信に努めています。



移住者交流会

定住支援の一つとして、移住された方と地域をつなぐ「移住者交流会」を隔月で開催。地域活動の理解を深めるきっかけの場ともなり、楽しいつながりが広がっています。次回は1月10日と3月7日を予定。どなたでも参加OK！皆さまのご参加、お待ちしております



町の活性化のためのレンタル事業

今年度から始めているお役立ち機材レンタル制度。ならはみらいで所有しているテントやのぼり旗、発電機等のレンタルを行い、檜葉町の活性化に繋げています。町内の行事やイベント等、現時点で20件の申し込みをいただいています。皆様のご利用お待ちしております。



大学生との連携

大学生がここなら笑点街やCANvasで実施する飲食店応援を目的にしたイベントや、子ども向けの水風船対戦イベントといった企画のサポートを実施。持ち込み企画の広報サポート等を通して、笑ふるタウンを中心とした地域の集客や賑わい創出に貢献しました。



子育て世代のつながりづくり

今年度、3回の実施を予定している「おさがり交流会」子どもたちや、子育て家族のみなさんとのつながりを増やし、町内の企業・団体との接点になるような場づくりを行っています。専用通貨も活用し、子どもたちはちいさなお仕事をしたりしながら楽しんでくれました。

檜葉町立地企業親和会

組織紹介 南工業団地、北産業団地、竜田駅東地区、その他公共施設に入居する企業団体の23社

檜葉町立地企業親和会は、町内に立地する企業等が地域と良好な関係を構築し、各種まちづくり施策に積極的に関わることで、地域と企業がともに持続的な発展を目的とする協議体です。

今回は会員の声から生まれた美化活動に関する報告をさせていただきます。

「自分たちが働く場所は自分たちできれいにしよう」との思いから、南工業団地連絡会では各社が周辺の除草やごみ拾いを実施。秋のクリーンアップ作戦を前に12社が清掃に取り組み、当日



も5社が山田岡行政区の活動に参加しました。昨年度、檜葉町役場から除草協力の要請を受け、今年は刈払機の講習会から開始。安全に作業できる環境を整えたうえで景観整備を行いました。企業としてだけでなく、地域の一員として住みやすいまちづくりに努めます。



これが イマドキ! “ならは事情”

・ ならはみらいスタッフが紹介!

子どもたちのための企画を準備中!

今年度、たくさんのご家族のみなさんに参加していただいた「おさがり交流会」。このイベントで使用している専用通貨「みらい」は、子どもたちが社会の仕組みを学べるようにと導入しました。今後は、檜葉町の子どもたちが「働く」「納める」「遊ぶ」のサイクルを通じて、町の仕組みを学べるような「こどものまち」を準備中です! 町内の企業・団体のみなさんと子どもたちの未来について考えられるよう企画していきます。



遊びながら学べる場を計画しています!

笑ふるタウンならは新春イベント

震災前から暮らす方だけではなく、移住された方や様々な団体・事業者が加わり、活気づいてきた檜葉町。そんな檜葉に関わる方々が手と手を取り合い、アイデアを出しながら、たくさんの笑顔があふれる新春イベントを、ここなら笑点街テナント会と共催で開催します。

笑ふるタウンならはで新たな年の門出と一緒に祝いましょう!



1月10日(土)は笑ふるタウンへお越しください!



想いをアクションに!!

ならはみらいまちづくりフチ補助金



前原行政區長
五十嵐 カーさん

ならはみらいフチ補助金

【芽吹き部門採択団体】前原行政区の活動をご紹介します!

前原行政区は、フチ補助金を活用して地域の方々の交流事業を実施。
区長を務める五十嵐さんにお話を伺いました♪

前原行政区は、東日本大震災による津波の被害を受け、震災前の約半数である40世帯で活動しています。更にその内12世帯は、町外に暮らしながらも前原に関わり続けたいと活動に参加していただいている方々です。震災前に比べると小規模になってしまいましたが、それでも前原ならではのつながりの強さを大切にしたいと活動を続けています。

今年度はフチ補助金への申請を機に、例年の花植え活動に加え、さつまいもの苗植え&収穫、交流会を開催。前原には、甘藷貯蔵施設があることから「さつまいも」を通じた企画を考えました。

子どもたちからお年寄りまでの地区住民が集い、泥だらけになりながら作業を



する様子はとても賑やかで懐かしいものでした。

しろはとファームのみなさんにも苗の寄付や作業のご指導をいただき繋がりが深くなったと感じます。

補助金を活用したことで、新たな活動を始めることができました。引き続きみんなでアイデアや意見を出し合いながら、前原地区らしい活動をつくっていきたいと考えています。

フチ補助金

【芽吹き部門】

補助上限額10万円

R7年度の採択件数 10件

【若葉部門】

補助上限額30万円

R7年度の採択件数 1件



檜葉町移住促進事業をご紹介します

JR東日本びゅうツーリズム&セールスと連携!

「檜葉町ぐるり体験ツアー」

檜葉町移住促進事業の一つとして、檜葉町を体験するツアーを企画しました。このようなツアーは初めての試みとなります。

参加者の皆様に「いかに檜葉町らしさを体験していただくか」「檜葉町にまた訪れたいくなる内容になっているか」などを考えツアーを構築していきましました。

町内で農業に従事されている皆様や町内事業所の皆様にもご協力いただき、檜葉町の文化・自然・食に触れる内容となりました。首都圏



から参加された14名の皆様に2日間の短い行程でしたが檜葉町を堪能していただくことができました。

今年度は木戸ダムや甘藷貯蔵施設の見学、天神岬からの朝日やゆず狩りなどを体験していただきましたが、今後は檜葉町のこれまでの経験や地域の強味を活かしたツアーなどを組み立てるなど新たな取り組みにチャレンジして参ります!



だれもが
このまちをつくる主人公!

ならはのプレイヤーたちをご紹介します

「みんなのこーみんか」の運営を始める森山さん、宇佐見さん、松下さん。スタートの経緯などを森山さんに伺いました。

是非足をお運びください!

お話を伺った 森山 晴香さん

「みんなのこーみんか」運営
宇佐見 采花さん 松下 朋子さん



山田岡地区にある古民家を「みんなのこーみんか」と名付け、オーナーから借り受けて、仲間とともに誰もが使いやすい場所になることを目指している森山晴香さん。震災時は海外に暮らしており、その様子をテレビ越しに眺めるしかなく「自分の目で今の東北を見てみたい」と東北沿岸部を旅したことが檜葉との縁の始まりでした。訪問を重ねる中で、地域とのつながりが深まり、現在の活動へとつながっています。



現在の活動の大きなきっかけとなったのは、地域に残されていた古い道具やものが、整理の過程で処分されてしまってい

たことでした。「大切に使われてきたものが、気づかぬうちに消えていく」手遅れになる前に何かできることはないかと、仲間と考え続けてきました。

「みんなのこーみんか」では、地域の空き家を通して、この地域で培われてきた文化をこれからの時代にどう継いでいけるのか、手放したい人から、必要とする人のもとへ、どう繋いでいけるのか、“みんな”で考え、話し合うことができる場所にしていきたいと話します。そして、そのような試みを通して様々な世代や背景の方が混じり合う場になればと願っています。「みんなのこーみんか」という名には、「誰も拒まない場にする」という森山さん達の覚悟が込められています。

土地やモノに残る記憶や想いを次につないでいくことの大切さを、あらためて感じる機会になりました。「みんなのこーみんか」を拠点に、人と人のつながりが生まれ始めていると感じました。

この活動は、ふるさと納税寄付金を活用した檜葉町の町民提案型まちづくり補助金を活用しています

Pick up

初開催!トーク企画「ならは再発見」



檜葉町活性化協議会が主催するトーク企画が初開催!商業や福祉、スポーツ等様々な分野の団体で構成される同協議会は、『一人ひとりの違いを力に変え、“らしさ”を大切にするまち』を目指して活動中です。今回は、この地域の“ひと”の面白さを知り、檜葉のこれからを考えようと計画しました。当日は、約40名の方が参加。飲食店「陽なたぼっこ」を営む吉田泰子さんをゲストに、開店までのエピソードや、料理に込めた想いをお話いただきました。今後も継続開催を予定しておりますのでお楽しみに!

開催!

応えます!

みんなが使いやすい交流館へ



ならはみらいで管理・運営を行っているみんなの交流館 ならはCANvasでは、皆さまから寄せられたご要望に応え、より快適に過ごせる環境づくりを進めています。夏場の屋外では、西側パーゴラに涼しいミストを設置し、休憩時の熱中症対策として好評いただきました。館内では、2階ワークスペースの全席で電源を使いたいという声に応えてUSB対応コンセントを増設。「みんなのリビング」には作業や飲食がしやすい木製テーブルを設置し、ソファでくつろぎながら使える空間を整えました。今後とも交流館では皆様の要望に応えていきます。



Hot! その空き家、次の“ただいま”を待っています。

ならはみらいでは「空き家・空き地バンク」の受付窓口を設置しています。これは町内の空き家・空き地を有効活用する仕組みで、

貸したい・売りたい方に物件情報を登録いただき、住民や移住希望者に提供します。

お問い合わせ時には基本情報や相談内容を伺い、後日、専門家を交えたヒアリングを実施します。(オンライン対応も可能です)ちょっとした相談でも、お気軽にご連絡ください。

※全ての相談に対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



その空き家、
次の“ただいま”を待ってます。
榊町
**空き家・空き地
募集中**



Info 3.11特別企画展を開催

2021年にスタートした3.11特別企画展『みちのうえ』は、ならはみらいが主催するアーカイブプロジェクトです。地域のみなさんから収集した写真や、個々の避難の記録をまとめたパネルなどを展示予定です。皆様のご来場をお待ちしております。



日時: 令和8年3月6日(金)~3月23日(月)
場所: みんなの交流館ならはCANvas

Report ここなら笑店街を賑やかに

おいしいグルメや音楽、イルミネーションで笑顔溢れるクリスマス! 今年にはサンタやトナカイと共にゆず太郎も登場し、こどもたちも大喜び! ここなら笑店街ならではの温かさで、会場は笑顔に包まれました。



Report 「ある日のならはまち。」作成中

榊町の四季折々の「ある日」を集めたフォトブックを作成中! いつものお散歩コースからの景色や仲間と一緒に町を楽しむ様子など、フォトブックに載せたいみなさまのオススメをぜひご紹介ください。

榊町のステキな一瞬をみんなで残していきましょう!



MIRAI Now ならはみらいの動き

1月 10日 ● 新春イベント
移住者交流会

2月 11日 ● おさがり交流会

3月 ● 3.11特別企画展みちのうえ
開催期間: 3月6日~3月23日

7日 ● 移住者交流会

※詳細はサイトやSNSをご覧ください

毎月実施 榊町活性化協議会会議(第1水曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

発行者・問い合わせ先

一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡榊町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内
電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772
Mail: info@narahamirai.com Web: <https://narahamirai.com>

